

# 令和2年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	所管部局	総合政策部	作成責任者	総合政策部長 倉本 博史	施策コード	02 - 11
総合評価	効果的な取組を検討して引き続き推進	照会先	政策局 総合教育推進課 21-195	関係課	総合政策部国際課 教育庁教育政策課	政策体系コード	3(2)B

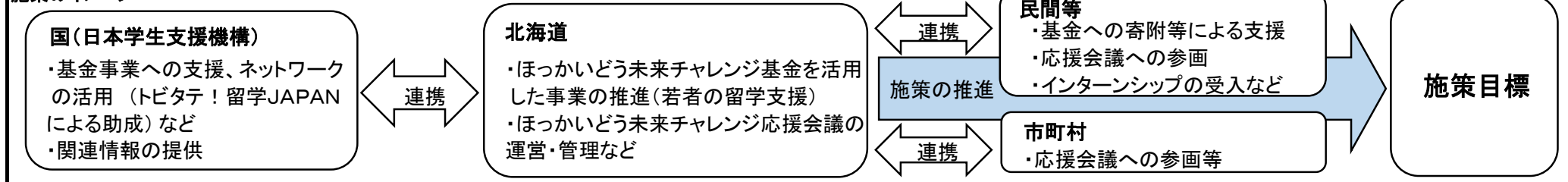
## Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

### 1 目標等の設定

現状と課題	施策目標	施策の予算額(千円)	
<p>・人口減少やグローバル化が急速に進行する中で、北海道が活力ある地域として発展し続けていくためには、北海道への誇りと異なる文化への寛容を身につけ、国際社会に貢献する高い志と広い視野を持って、地域や世界の課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意思を持つグローバル人材や新たな価値を創出するイノベーション人材の育成・確保が必要。</p> <p>・そのため、グローバル人材としての素養の醸成はもとより、海外留学の促進や人材活用に向けた環境の整備、ネットワーク体制の構築などの課題に北海道全体で取り組むことが必要。</p>	<p>・活力ある未来を拓くため、ほっかいどう未来チャレンジ基金を活用して、若者の留学支援や世界を舞台に活躍出来る人材の育成や、既成概念にとらわれないアイデアで「新たな価値」を創出する人材の発掘・育成を推進する。</p> <p>・留学経験者とグローバル人材を求める企業とのマッチング等を進めながら、効果的な人材活用に向けた環境整備の在り方を検討する。</p> <p>・企業や地域との連携を図り、グローバル人材の育成に係る情報等を北海道全体で共有するネットワーク体制を構築する。</p>	H30	28,157
		R1	27,695
		R2	34,368

項目	政策体系	国の役割・取組等	道の役割・取組等	市町村の役割・取組等	民間等の役割・取組等
【ほっかいどう未来チャレンジ基金】	3(2)B	<ul style="list-style-type: none"> <li>トビタテ留学JAPANによる助成金措置</li> <li>関連情報の提供</li> </ul>	ほっかいどう未来チャレンジ基金を活用した事業の推進、ほっかいどう未来チャレンジ応援会議の運営・管理など	応援会議への参画、グローバル人材育成に関する情報提供、基金のPR協力等	基金への寄附等による支援、応援会議への参画、インターンシップの受入など

### 施策のイメージ



# 令和2年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02 — 11
-----	-------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

## 今年度の取組

## 1-2 取組の結果

政策体系及び関連計画等	今年度の取組	実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響等	道民ニーズを踏まえた対応
3(2)B  【創生】 A1323 A1172 【公約】 C0014 C0034	<p>◎「ほっかいどう未来チャレンジ基金」により実施する事業について、産学官による三位一体の推進体制での円滑な運営に努め、応援パートナー企業等や関係団体を通して募集の周知を行うとともに、若者からの応募に対し専門分野の有識者等による面接を実施し、第4期生を選抜する。助成対象者決定後は、海外での活動の安全と充実を図るレクチャーを応援パートナー企業の保険会社から行うなど、海外への派遣に係るサポートを行う。</p> <p>また、帰国した基金生が学びの成果を北海道に還元できるよう、道主催事業へ基金生を講師として紹介するなど連携を図るとともに道内各地域での留学成果の報告会を開催し、地域での波及効果を図る。</p> <p>○豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成するために必要な質の高い教育を実施する大学等に修学できるよう、その修学に係る経済的負担を軽減する高等教育の修学支援新制度について、運用状況や課題等を踏まえながら、道としての修学支援のあり方を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官による三位一体の推進体制での円滑な運営を行い、応援パートナー企業等や関係団体を通して募集の周知を行った。</li> <li>・帰国した基金生が学びの成果を北海道に還元できるよう、道主催事業へ基金生を講師として紹介するなど連携を図った。</li> <li>・「奨学金等に関する庁内検討会議」を開催し、道としての修学支援のあり方を検討するとともに、国の修学支援新制度の制度の充実について、国への提案・要望を実施した。</li> </ul> <p><b>《新型コロナウイルス感染症の影響等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、令和2年度の4月募集を中止した。</li> <li>・上記募集の中止に伴い、海外留学出発前に応援パートナー企業等を集めて基金生を激励するとともに、基金生が留学の決意を表明するために開催する「壮行会」も中止した。</li> <li>・地域における留学成果の報告会及び帰国報告会は、新型コロナウイルス感染症の状況等を見極め、開催時期・方法等を検討し、実施する予定。</li> <li>・今後の新たな募集については、新型コロナウイルス感染症の状況や 国(文部科学省)の動向等を踏まえ、検討していく。</li> </ul>	<p>基金生へのアンケート及びパートナー企業等へのアンケートにより制度への意見を照会し、制度の検討・見直しに役立てている。</p>

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

連携種別 (政策体系)	連携内容	連携先		取組の実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響
		施策コード	関係部・関係課	
施策・部局 3(2)B	・「北海道におけるグローバル人材の育成に向けて」に基づき、国際分野で活躍できる人材の育成・活用に向けて、知事部局と教育委員会との相互連携により個別具体的なプロジェクトを進めるために個別テーマごとに設置している連携チームにおいて、情報交換や今後の取組について検討を行う。 ・教育庁主催行事へ基金生を講師として派遣することにより、留学による学びの成果を道内に還元する。	0212	総合政策部国際課	・「ほっかいどう未来チャレンジ基金」ホームページや道民ホールでの基金PRポスター展において、教育庁主催行事等への基金生の活用をPRした。 ・道教育庁主催行事において講師となる基金生を紹介した。
		1108	教育庁教育政策課	
地域・民間	産学官関係者で構成し、基金事業を推進するために設置している「ほっかいどう未来チャレンジ応援会議」において、若者の審査選考や事業内容等の検証・見直し等を行う。		スポーツ・文化・経済関連団体	・R2年度から学生留学コースの支援対象分野を拡大するとともに、スポーツ・文化芸術・未来の匠コースの海外研修の対象を拡大した。 ・応援パートナー企業等や関係団体の協力を得ながら、募集の周知を行った。 ・グローバル人材活用に向けたネットワークとして、応援パートナー企業、応援会議構成団体等に情報発信・情報共有を図ったほか、帰国した基金生によるネットワーク「みらコミュ」で情報共有を図った。 <b>《新型コロナウイルス感染症の影響等》</b> ・世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、令和2年度の募集を中止した。
			応援会議加盟大学	
			札幌市 など産学官各団体	

# 令和2年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02 - 11
-----	-------------	-------	---------

## Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

## Do & Check 施策評価

### 3 成果指標の設定

(H:平成、R:令和、大文字は年度、小文字は暦年)

### 3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか		
		基準年度	H26	年度	R2	最終年度	R7	達成度合	A	A	A			
国際理解教育を行っている公立高校の割合		基準年度	H26	年度	R2	最終年度	R7	達成度合	A	A	A	【内的要因】 これまでの学校に対する働きかけが成果に表れており、引き続き取組を推進する必要がある。		
		基準値	71	目標値	100	最終目標値	100	年度	R1	R2	進捗率			
【指標の説明】 姉妹校との生徒の交流会や外国人による講演会など国際理解教育に関する取組を行っている公立高等学校の割合 【アウトプット指標】 北海道教育推進計画における施策の展開を踏まえ設定。	根拠計画	政策体系	増減方向	達成率の算式			目標値	100	100	100				
				北海道総合計画	3(2)B	維持	(実績値/目標値)×100			実績値	100		-	100
							達成率	100.0%	-	100.0%				

関①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか		
		基準年度	H30	年度	R2	最終年度	R6	達成度合	A	A	A			
「ほっかいどう未来チャレンジ基金」応援パートナー・応援サポーター数		基準年度	H30	年度	R2	最終年度	R6	達成度合	A	A	A	【内的要因】 基金のPR等地道な広報活動及び企業訪問による基金への理解が深まったことによる協力企業等の増加 【外的要因】 世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により企業等の寄附マインドの低下 R1の目標値は創生総合戦略における目標値を使用。		
		基準値	87	目標値	97	最終目標値	117	年度	R1	R2	進捗率			
【指標の説明】 基金を支援していただく企業や団体をR6年度までに117団体とする。 【アウトプット指標】 基金に支援していただく企業等の増加により、事業推進に必要な資金の獲得や事業推進体制の強化を図る指標として設定。	根拠計画	政策体系	増減方向	達成率の算式			目標値	92	97	117				
				北海道創生総合戦略	3(2)B	増加	(実績値/目標値)×100			実績値	95		-	95
							達成率	103.3%	-	81.2%				

関②	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか		
		基準年度	R1	年度	R2	最終年度	R6	達成度合	A	A	A			
「ほっかいどう未来チャレンジ基金」による助成者数		基準年度	R1 <td>年度</td> <td>R2 <td>最終年度</td> <td>R6</td> <td>達成度合</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td rowspan="6">【内的要因】 広報活動や大学等による留学説明会の開催による学生を中心とした留学マインドの向上 【外的要因】 世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大により募集を中止。 R1の目標値は創生総合戦略における目標値を使用。</td> </td>	年度	R2 <td>最終年度</td> <td>R6</td> <td>達成度合</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td rowspan="6">【内的要因】 広報活動や大学等による留学説明会の開催による学生を中心とした留学マインドの向上 【外的要因】 世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大により募集を中止。 R1の目標値は創生総合戦略における目標値を使用。</td>	最終年度	R6	達成度合	A	A	A	【内的要因】 広報活動や大学等による留学説明会の開催による学生を中心とした留学マインドの向上 【外的要因】 世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大により募集を中止。 R1の目標値は創生総合戦略における目標値を使用。		
		基準値	26	目標値	35.0	最終目標値	71	年度	R1	R2	進捗率			
【指標の説明】 基金を活用した支援により海外留学を行う若者をR6年度までに累計71名とする。 【アウトプット指標】 支援する若者の増加により北海道に貢献する人材育成を図る指標として設定。	根拠計画	政策体系	増減方向	達成率の算式			目標値	26	35	71				
				北海道創生総合戦略	3(2)B	増加	(実績値/目標値)×100			実績値	26		-	26
							達成率	100.0%	-	36.6%				

### ● 本施策に成果指標を設定できない理由

### ● 達成度合について

達成度合	A	B	C	D	-
直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和2年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02 - 11
-----	-------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	令和2年度					フル コスト (千円)
						事業費 (千円)	うち 一般財源	執行体制			
						本庁	出先機関	人工計			
0501	3(2)B	北海道未来人材応援事業費	本道の将来を担う人材の育成を図るため、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」により支援する。	政策局総合教育推進課		33,671	4,867	2.3	0.0	2.3	51,887
0502	3(2)B	北海道未来人材応援基金運営費	ほっかいどう未来チャレンジ基金の継続的、安定的な運営をするため、企業訪問による協賛協力要請の実施や、道内外個人の寄附利便性向上を図る。	政策局総合教育推進課		697	697	0.2	0.0	0.2	2,281
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
										0.0	0
計						0	34,368	5,564	2.5	0.0	2.5

**Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)**

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A	B	C	D	-		
	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可		
3(2)B	3					A・B指標のみ	<「ほっかいどう未来チャレンジ基金」応援パートナー・応援サポーター数【A】> ・基金のPR等地道な広報活動を実施し、企業訪問により基金への理解が深まったことによる協力企業等の増加につながった。 <「ほっかいどう未来チャレンジ基金」による助成者数【A】> ・広報活動や大学等による留学説明会の開催により学生を中心とした留学マインドの向上が図られた。 <国際理解教育を行っている公立高校の割合【A】> ・姉妹都市交流や海外見学旅行の受入、授業におけるALTの活用など公立高校において国際理解教育が推進された。
						-	
						-	
計	3	0	0	0	0	A・B指標のみ	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○→対応している) (△→コロナの影響)	理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	△	世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等により、当初予定していた募集を中止し、それに伴い壮行会も開催できなかった。
基準2~4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由(新型コロナウイルス感染症の影響で取組がない場合は理由を記載)
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	次年度以降の留学支援制度継続について、国に対して要望・提案を実施している。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	基金生へのアンケート及びパートナー企業等へのアンケートにより制度への意見を照会し、制度の検討・見直しに役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携や地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	ほっかいどう未来チャレンジ基金の助成事業の実施や帰国した基金生が学びの成果を北海道へ還元する機会の提供など関係部・道教育庁と連携した取組が行われている。また、産学官による三位一体の推進体制での円滑な運営に努め、各関係機関の協力を得ながら募集を周知している。
判定 ・基準1が「○」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ a ・基準1が「○か△」ではない、又は基準1は「○か△」だが基準2~4に1つも「○」がない→ b ・基準1が「△」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ c			C



Check 施策評価・事務事業評価 二次政策評価結果(知事による評価)

6 二次政策評価結果(知事による評価)

<意見区分： 施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性>

	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	付加意見
施策 事務事業	I	0501	北海道未来人財応援事業費	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	付加意見
事務事業				



# 令和2年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02 - 11
-----	-------------	-------	---------

## Action 施策・事務事業評価

### 7 評価結果の反映 (1) 一次政策評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<p>&lt;新たな取組等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学、パートナー企業などと連携し、大学生や社会人の応募を検討する者を対象とした留学説明会を開催するなど、優秀な人材確保に取り組む。</li> <li>・道主催事業の活用や道教育庁との連携により、帰国した留学生の学びの成果を北海道に還元するための帰国報告・成果発表などに取り組む。</li> <li>・帰国した留学生の学びの成果の還元については、道内各地域において成果発表会を開催し、グローバル人材の育成に対するさらなる機運醸成を図るとともに、留学生との連携が期待される地域の事業者へのPRを実施する。</li> </ul>	改善:北海道未来人材応援事業費
②	<p>&lt;新たな取組等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰国報告会は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オンラインで開催するとともに当日の様子を映像として記録し、応援パートナー等関係者にDVDに保存して配布する。</li> <li>・地域における留学成果の報告会は、留学成果の内容をパネルやポスターにし、振興局などでPR展を実施する。</li> </ul>	改善:北海道未来人材応援事業費
③	<p>&lt;廃止・縮小、見直しを行った取組等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の募集については、新型コロナウイルス感染症の状況や国(文部科学省)の動向等を踏まえ、募集・選考までは実施し、その後の渡航・留学実施については、感染症危険情報レベルや新型コロナウイルス感染症の状況も考慮し、判断していく。</li> </ul>	改善:北海道未来人材応援事業費

### (2) 二次政策評価結果への対応(付加意見への対応状況) <意見区分： 施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性>

対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	各部局の対応(令和3年3月末時点)
I	0501	北海道未来人材応援事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の状況や国(文部科学省)の動向等を踏まえ、募集・選考まで実施し、夏以降に予定している渡航・留学の開始については、感染症危険情報レベルや新型コロナウイルス感染症の状況も考慮し、実施を慎重に判断していく。</li> <li>・また、帰国した留学生の学びの成果の還元については、道内各地域において成果発表会を開催し、グローバル人材の育成に対するさらなる機運醸成を図るとともに、留学生との連携が期待される地域の事業者へのPRを実施する。</li> </ul>

### (3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果		1					1

次年度新規事業 (予定)

事務事業 整理番号	事務事業名	一次政策評価にお ける方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)
0501	北海道未来人材応援事業費	改善	改善